

生き物教室 ～春・夏・秋・冬～

今年度も「生き物教室」を年間4回（春・夏・秋・冬）開催した。有馬富士学習センターから、生物や植物についての専門的な知識をお持ちの長谷川先生と高橋先生、池田先生をお招きし、低・中学年の児童を対象に、学校や母子の里山を散策し、植物や生き物の観察や採集を行いました。



春の生き物教室 5月15日（水）

虫かごやビニール袋、虫とり網を持って、周辺の野や畑、川辺を散策しながら虫見つけが始まりました。「あっバッタ見つけた!」「トンボをつかまえた!」と夢中になって探していました。長谷川先生に「この虫何ですか?」などたくさんのおたずねをしていました。



夏の生き物教室 6月26日（水）

「水辺の生きもの観察」

学校の横を流れる青野川で水辺の生き物採集を行いました。網の中には、どじょうも・・・採集した生き物を大型テレビに映し出すとみんな驚きの声・・・「うわあ、足が動いている。」「しっぽがはさみみたい。」などたくさんのお見見をしていました。



秋の生き物教室

9月18日（水）

「むしむしペナントレース」を開催しました。校庭でつかまえた虫をみんなで観察し、仲間に分けてみました。



冬の生き物教室 2月5日（水）

「土の中の生きもの観察」

寒風の中、学校の畑に行きスコップで土を掘り起こし、眠っている生きものや草木など様々なものを発見していました。「うわあ、大きなミミズ!」「モグラの穴が続いている。」子どもたちの元気な声が聞こえていました。

年4回の生き物教室を通して、子どもたちは母子の自然に目を向け、改めてその素晴らしさを感じていたようです。虫が苦手と言っていた子どももいつの間にか夢中になっている様子や、採集した虫を拡大顕微鏡で見ることで生き物の不思議や魅力を再発見していました。